

# 医療機関の患者情報の取扱いに関する情報提供についての研究

## Study of the provision of information on the handling of patient records by medical institutions

新水美代子 法制・倫理分科会 情報セキュリティ大学院大学

Abstract: The digitization of healthcare will improve the efficiency of healthcare and bring direct convenience to patients. On the other hand, cyber-attacks against medical institutions are increasing, seriously affecting medical practices. Medical institutions need to take cyber security measures, but the citizens and patients do not know about it. This study is to research incidents that occurred in medical institutions and classifies security measures medical institutions did. Also survey will be conducted to find out what patients want to know about the security of medical institutions. The results of these two surveys will be analyzed to propose what information should be informed by medical institutions for security.

### 背景

- 医療機関や医療はIT化が進んでいる
- 患者の医療情報は複数の医療機関の間で閲覧できるようデジタル化が進んでいる
- しかしながら医療機関におけるセキュリティ事故事件も発生している



今後さらに医療機関のセキュリティの重要性は高まる

### 最近のインシデント → 診療に重大な影響

- 徳島の病院 ランサム攻撃でカルテ暗号化 2か月診療停止 (2021/10/31)
- 東大阪の病院で医用画像参照システムサーバへの不正アクセス 2日間サーバダウン (2021/5/31)
- 大学付属病院でサーバー被害 診療停止 カルテ一時使えず (2022/1/14)

### 先行研究の調査によると

- 医療機関で看護職者が関係した事故事例の原因調査<sup>(1)</sup>: 1位 紛失・置き忘れ 2位 不適切な持ち出し (2017年調査)
- 一般市民に対するアンケート<sup>(2)</sup>: 健康保険証や診察カードの代わりにマイナンバーカードやスマホを利用するのはセキュリティ面で不安 50.9% (2021年調査)
- 医師会関係者に対するアンケート<sup>(3)</sup>: 病院でなりすましメールの受信経験あり53% サイバーセキュリティ事案発生時の対応手順の整備について、文書化された形でルールが整備されている医療機関は、15%弱~25%強 (2020年調査)

### 今後の研究

#### 調査1:公式発表からの調査

- 医療機関で起こった情報インシデントを調査し、医療機関が取り組むべき情報セキュリティ対策を整理する。

#### 調査2:アンケート調査

- 医療関係者はセキュリティ情報として患者にどんなことを伝えるべきと考えているか
- 市民は医療機関のセキュリティについて何を知りたいか

この2つの結果を分析し、医療機関が伝えるべき情報セキュリティ関連の情報を提案する

出典: (1)看護職者が起こしやすい個人情報漏えい事故の原因に関する分析 Journal of Japan Society of Nursing Research doi:10.15065/jjsnr.20180417016

(2)患者へのWeb アンケート調査に基づいた、オンライン診療および医療機関の電子化の在り方に関する調査研究 吉田真弓第22回日本医療情報学会学術大会

(3)医療機関におけるサイバーセキュリティ実態調査 日医総研リサーチエッセイ No.84